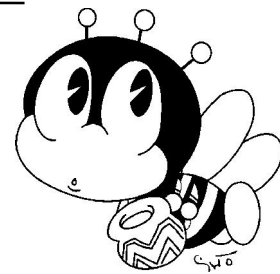


第36号  
2008  
10.1

# マナビ通信

米沢鷹山大学本部だより



## 遊学よねざわ 2008 生涯学習フェア

会場内のさまざまな  
体験コーナーで、  
スタンプ5個集めると、  
フェア参加団体  
提供の素敵なプレゼン  
トがもらえます。

スタンプ  
ラリー



マナビ  
ギャラリー

日頃の活動の成果  
を展示発表しま  
す。体験コーナ  
ーもあります。



10月 11日 (土)  
9:30~ 17:00  
10月 12日 (日)  
10:00~ 16:00

会場  
米沢市営体育館  
及び駐車場



マナビ  
テント村

フリーマーケット、  
缶バッチ作り、  
ばくだんの実演、  
いろんな模擬店が  
並びます。



マナビ  
ステージ

日頃の活動の  
成果を体育館  
のステージで  
発表します。



参加団体や内容に  
ついては広報よねざわ  
10月 1日号折り込みチラシ  
「生涯学習フェア」を  
ご覧下さい。

<お問い合わせ>

米沢市  
生涯学習フェスティバル実行委員会  
(社会教育課生涯学習担当)  
21-6111 内線 6007

# 市民おもしろいなカレッジ

20年度後期に新しく始まる講座

## メイクアップ ベーシック3回コース

高橋 アサコ 氏  
スキンケア・メイクアップ・カラーの知識を  
身につけ、センスアップしましょう。  
10歳若く美しく見せる事ができるかも？

## 愛を詠む川柳講座

松谷 忠和 氏  
川柳で詠む天地人。  
あなたの素敵な愛を川柳で詠みませんか！  
そして、いろいろな公募川柳に応募してみま  
しょう・・・視野が広がりますよ。

## 若さを保つヨガ健康法

高橋 俊誠 氏  
初心者から誰でもできる「若さを保つ若返り  
の健康法」インドヨガの教え  
(倫理と実践)から学びます。



以上の3講座が新しく始まり、後期は19講座  
を予定しています。前期に好評だったので引き続  
き後期も講座を開いてみたいと実施者・講師とも  
がんばっています。

また、21年度の申し込みは12月から始まり  
ますので、講座を開きたい方は、どうぞ、奮っ  
てご参加下さい。

米沢市生涯学習フェスティバル「遊学よねざわ2008」記念講演会

## モノづくりは人づくり

人が変わる、組織が変わる、地域も変わる

平成20年10月25日(土) 12:30開場 13:15開演  
伝国の杜 置賜文化ホール  
(どなたでもご自由にご入場いただけます)

オープニングセレモニー 13:15~ 13:30

第 部 基調講演 13:30~ 14:30

講師：後藤 卓也 氏  
(株式会社 花王 前取締役会長)



- \* 24期連続増益を支えたものは何か
- \* 会社の「夢」を自分の「夢」にする生き方とは
- \* 自分探しより、自分の力を試す生き方とは

第 部 対 談 14:30~ 15:45

後藤 卓也 氏 VS 大場 好弘 氏(山形大学工学部長)  
~ 同じ方向に一人ひとりが変わろうとすることが組織を変え社会を変える ~

主催：米沢市・米沢市教育委員会  
共催：山形大学工学部・米沢商工会議所・米沢ビジネスネットワークオフィス  
問い合わせ：社会教育課生涯学習担当 21-6111

## まちづくり人財養成

### まちづくりの提言プレゼンテーション

7月からスタートしたまちづくり人財養成講座では、『住みよい豊かな米沢のまち』を実現するには何が必要かについて、市民の目線での新しい提言を行うことになっています。

この提言に向けて、受講者はグループに分れての活動を開始しておりますが、グループでの提言テーマ（仮称）の一部を紹介しますと

産業Aグループは、「新しい企業誘致策」

産業Bグループは、「米沢八湯の連携」

歴史文化グループは、「旧町名の由来と顕彰」

交通グループは、「乗りたくなる市民バス」などです。

学習の成果を反映した『まちづくりの提言』が発表され「提言書」が市長に手渡されます。

『米沢のまち』づくりについて行政も長期計画などを発表してきましたが、立場を替えてサービスを受ける市民からの目線を見た『豊かな米沢のまちづくり』を市民の自由な発想での提言が期待されます。

この運動は地方都市の新しい先進的な方策として全国に波及して行くものと思われます。

是非、プレゼンテーションを聞きに伝国の杜までお出かけ下さい。

発表日時は下記のとおりです。

期日 11月9日 日曜日

時間 13:00～15:00

場所 伝国の杜 大会議室  
入場無料

## よねざわ学アカデミーからのお知らせ

よねざわ学アカデミーでは下記のように勉強会を行います。多くの方と意見交換が出来ればと考えますので是非ご参加下さい。

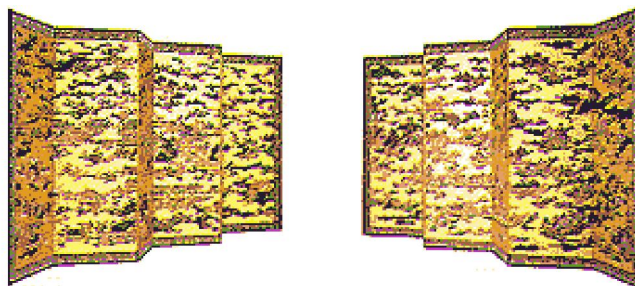
- \* とき 10月19日（日）
- \* 時間 10:00～12:00
- \* 場所 米沢市上杉博物館・伝国の杜
- \* テーマ 「国宝 洛中洛外図屏風」を学芸員の方に説明頂き、その後会員での意見交換等によりお互いに学びたいと思います。  
10:00～10:30 説明  
10:30～12:00 意見交換会  
(伝国の社会議室)
- \* 参加申込 10月17日まで  
鷹山大学本部 電話 21-6111  
内線 6423

\* その他 入場料200円(個人負担)

洛中洛外図屏風

米沢藩上杉家に受け継がれた

京の都の日常風景



## 生涯学習パスポートを活用しよう

生涯学習パスポートは9月15日配布の鷹山大学ガイドブックに折り込まれています。このパスポートは自分の生涯学習の成果を記録するものです。記録することによって色々見えてくるものもあると思います。面倒がらずに是非ご活用下さい。ご意見・ご感想・詳しい事は社会教育課・鷹山大学本部にお尋ね下さい。



## 2009年NHK大河ドラマ「天地人」に決定

### 上杉の智将 直江兼続について その 8

上杉の本城になる米沢城は、鎌倉時代の初期に大江時広により造られた。大江氏は頼朝の鎌倉幕府の骨組みを作った高名な学者で、頼朝の平泉攻めでも功があり、1238年、長男が「寒河江の荘」、次男が「長井の荘」をもらった。長井の荘は今の置賜のことである。大江時広は長井の地名をとって長井時広と改称し、伊達家に攻め取られるまでのおよそ150年間この地を統治した。

伊達家は米沢を本城とし、独眼流政宗の時代に会津を攻め取り天下を望んだが、時遅く既に戦国の世は秀吉により終焉に向かい、勝手な戦は認められなくなっていた。そのため苦労して取った会津を取り上げられ岩出山に移された。その会津には蒲生氏郷が入り置賜地方も治めた。しかし、氏

郷の急死後、蒲生家に内紛生じ、宇都宮に移され、その後上杉景勝が越後から移封された。

しかし、秀吉の死後、上杉家は家康に挑んだため、関ヶ原の役後は、会津120万石から伊達・信夫・長井郡(置賜地方)において30万石に減封されたが、武士の数は減らさなかった。上杉軍6千騎、従者や家族を含めるとおよそ3万人になり、内2万人(推定)近くが米沢城下に移住した。

当時米沢は803戸しかなく、兼続が中心になって「まちづくり」と殖産振興による収入源の拡大(実収60万石を目指し、一時56万石までになる)が行われ、徐々に成果は現れ始めた。

(つづく)

(文/米沢マナビスト塾 新谷博司)

## シリーズ 食材 米沢の食べ物

### 『芋煮鍋』

米沢地方での発祥は定かではありませんが、大正時代にはすでに機業などの従業員の慰安や、青年団や町内会などの懇親会に利用されていました。戦時中に一時中断したが、戦後には復活して現在に至っています。

山形県内での起源は、江戸の元禄時代に中山町の最上川船着場で船頭達が時間待ちに、里芋と棒鱈の鍋を、また、文化文政の頃には山形在住の近江商人達がニシンと里芋を煮て紅花取引の慰労会を行った事などとされています。

現在の「芋煮鍋」の具材と味付けは地域や主催者によって様々だが、地域で大別すると

すき焼き風 牛肉、醤油味 (置賜、村山)

豚汁風 豚肉、味噌味 (庄内)

になり、他の具材にねぎ、人参、大根、糸こんに、豆腐、きのこ、等等入れる物も多様化しています。



秋の1日を河原などに出て、家族や仲間たちと語りあい、同じ鍋をつ

つきあって楽しむ行事が「山形の芋煮会」であります。

(谷本)

雑学・・・里芋は親芋から子芋、孫芋がどんどんできるので、子孫繁栄の象徴として縁起物あつかいされてきました。

発行：米沢鷹山大学本部・マナビスト

事務局：〒992-0012 米沢市金池3-1-14

置賜総合文化センター1階

TEL 21-6111 FAX 21-6926

ホームページアドレス

<http://yozan.educ.yonezawa.yamagata.jp/>





